

## 平成 21 年度第 1 回府中市障害者計画推進協議会 会議録

■ 日 時：平成 21 年 10 月 14 日（水） 午後 3 時 00 分～4 時 10 分

■ 場 所：府中市役所 北庁舎 3 階 第 4 会議室

■ 出席者：（敬称略）

< 委員 >

高倉義憲、下條輝雄、山本博美、野村忠良、石見龍也、中川さゆり、真鍋美一、宮地幸、阿保満、葛岡裕、吉村輝秋、神山誠吾、桑田智、藤巻良以、河井文、鈴木一成

< 事務局 >

福祉保健部長、福祉保健部次長、障害者福祉課長、障害者福祉課長補佐、大木事務職員、望月事務職員

■ 議 事

1 開会・委員依頼

2 市長挨拶

3 委員自己紹介

4 会長及び副会長の選出

5 当協議会における検討事項依頼

6 議事

（1）府中市障害者計画推進協議会の概要説明について

（2）府中市障害者計画推進協議会会議のスケジュールについて

（3）次回日程について

（4）議事録について

（5）その他

■ 資 料 資料 1 府中市障害者計画推進協議会委員名簿

資料 2 府中市障害者計画推進協議会設置要綱

資料 3 府中市障害者計画推進協議会会議のスケジュール案（平成 21 年度～平成 23 年度）

## 1 開会・委員依頼

事務局：皆様、こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただき、まことにありがとうございます。ただいまより、平成21年度第1回府中市障害者計画推進協議会会議をさせていただきます。本日の司会を務めさせていただきます私、府中市福祉保健部障害者福祉課課長補佐の松尾と申します。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、お手元に配付してございます次第に従いまして、進めさせていただきたいと思いますが、委員委任状につきましては、本日は市長から委員の皆様へ直接お渡しすべきものですが、略式を持ちまして、卓上にご用意させていただいておりますので、ご確認のほど、よろしく願いいたします。

次に、本日、府中市障害者計画推進協議会の委員をお受けいただきました皆様に府中市長、野口忠直を代理し、府中市福祉保健部長、鎌田義恵よりごあいさつを代読させていただきます。鎌田部長、よろしく願いいたします。

## 2 市長挨拶

(福祉保健部長代読)

このたびは、府中市障害者計画推進協議会委員への就任をご依頼いたしましたところ、快くお引き受けいただき、また、本日はご多忙のところご出席いただき、まことにありがとうございます。あわせて、日ごろから市政運営にご理解、ご協力を賜っておりますことに厚く御礼を申し上げます。

本市では、「第5次府中市総合計画」の基本目標の一つである「安心していきいきと暮らせるまちづくり」を基本理念とした「府中市福祉計画」を本年4月に新たに策定いたしました。この計画に基づき、障害のある方々が、住みなれた地域で生きがいを持ちながら、いつまでも安心して自立した生活を送ることができるよう、さまざまな福祉施策を進めていく所存でございます。

皆様におかれましては、「府中市福祉計画」の中の障害者部門の計画である「府中市障害者計画」及び「府中市障害福祉計画」の評価、点検を含めた適正な推進のため、貴重なご意見を賜りますよう、よろしく願いいたします。

最後に、皆様のより一層のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、ごあいさついたします。

## 3 委員自己紹介

事務局：次に、委員の皆様のご紹介ですが、資料1として、当協議会委員名簿をお手元にお配りしてございますので、ご参照いただきながら名簿順に自己紹介をお願いいたします。

なお、本日は荒畑委員から欠席のご連絡をいただいております。

委員：名簿に書いてございますように、埼玉県狭山市に西武文理大学という大学がございまして、そちらの障害者福祉論を担当しております。よろしくお願ひいたします。ちょっと経歴をお話しさせていただきますが、この大学が平成19年から健康福祉マネジメント、福祉学科をつくるということで、それまで25年、国立の身体障害者の福祉施設に勤務しておりました。教員としてはまだ駆け出しでございますが、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

委員：府中市身体障害者福祉協会の会長です。よろしくお願ひいたします。

委員：手をつなぐ親の会の幹事をしております。子どもが府中市の社会福祉法人のひまわり園に通っております。よろしくお願ひいたします。

委員：府中市の精神障害者を守る家族会会長をしております。よろしくお願ひいたします。

委員：地域生活支援センターあけぼので所長をしております。ふだん障害のある方の相談支援事業を行っているところです。どうぞよろしくお願ひします。

委員：生活支援センタープラザ所長をしております。プラザは、精神障害の方を主に対象としている施設です。相談支援事業と地域活動支援センター事業を行っております。よろしくお願ひいたします。

委員：こんにちは。私は府中市福祉作業所等連絡協議会から代表で出ております。職場は、府中市の分梅町にある作業所スクラムの施設長をやっています。よろしくお願ひします。

委員：昨年度までは、都立多摩療育園の園長をしておりました。ことしからは非常勤としてまだ仕事をしております。よろしくお願ひします。

委員：私自身が障害を持った当事者、それと同時にC I Lふちゅうという、どんな重度の障害を持った人も地域で暮らせるような、そういう活動をしている団体の代表もやっています。それと、ケア府中という介護派遣事業所の所長もやっており、この3者の立場から、障害を持った人も障害がない人も住みやすい府中市にできるような、そういう計画づくりの推進のために、ぜひ力を出していきたいと思ひています。よろしくお願ひいたします。

委員：多摩府中の保健所の保健対策課長です。よろしくお願ひします。

委員：私は府中朝日特別支援学校校長をしております。都立の特別支援学校、今は分校を含めると55校あります。その中で、盲学校・ろう学校、または特別支援学校とありまして、特別支援学校は、知的障害、病弱、肢体不自由というふうに分かれておりますが、本校は知的障害の高等部の学校になっております。生徒数は193名、元気に学習しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

吉村委員：府中公共職業安定所専門援助第二部門統括をしています。外書きで専門援助第二部門という、何もわからないと思うのですが、障害者の職業相談窓口で、統括をやらせていただいております。よろしくお願ひします。

神山委員：私は、府中市第5地区民生児童委員の副会長をやっています。よろしくお願ひしま

す。

委員：私は府中市の社会福祉協議会の職員で、現在、市から指定管理を受けております南町にございます心障センターのほうに勤務をさせていただいております。今後ともよろしく願いいたします。

委員：公募市民です。ことし息子が府中朝日特別支援学校を卒業し、八王子の一般企業に就職いたしました。よろしく願いいたします。

委員：府中市障害者等地域自立支援協議会の会長として、本会議に出席させていただいております。私の子どもは肢体不自由、重複の子どもがおりまして、子ども自身は、府中市内の府中共同作業所というところに通所しております。私自身は、府中市の肢体不自由児者父母の会の会長をさせていただいております。どうぞよろしく願いいたします。

#### 4 会長及び副会長の選出

事務局：次に、会長、副会長の選出をお願いいたします。会長及び副会長の選出につきましては、府中市障害者計画推進協議会設置要綱第5条第2項の規定により、委員の皆様様の互選によることとなっております。それでは、皆様、いかがいたしましょうか。ご意見を賜りたいと存じます。

委員：よろしいでしょうか。今回第1回ということで、あと皆さん市内で活躍されている方ですので、顔なじみの方が皆さんいらっしゃると思いますが、第1回ということでもありますし、もし事務局のほうで何かいい案がございましたら、事務局のほうからお願いしていただきたいと思うのですが。

事務局：それでは、事務局の案という声がございました。事務局といたしましては、会長は高倉委員に、副会長は石見委員にお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(各委員より拍手あり)

事務局：ありがとうございます。では、異議がないということで、会長は高倉委員に、副会長は石見委員にお願いいたします。高倉委員、石見委員、恐れ入りますが、前方の正副会長席へお願いいたします。早速でございますが、高倉会長及び石見副会長からごあいさつをお願いいたします。

会長：会長というふうに出選されまして、その任にたえるかどうか、自信が心もとないところではございますけれども、前任の佐藤先生から、この推進協議会のお話は既に承っておりますので、ぜひよろしく願いしたいと存じます。また、議事進行上、いろいろ不手際もあるかと思えます。遠慮なくご指摘をいただければ幸いです。よろしく願いします。

副会長：前回、この計画を策定するに当たったときに副会長を務めさせていただきました。今回の委員の皆様も策定に加わった方、また新たに選任された方がいらっしゃる

と思いますが、この計画がきちんと遂行されているかどうかという点検、そしてこれから将来に向けて、障害がある方が地域で暮らすための府中市としての計画がきちんとなされているかというのを皆さんのお力を借りて進めていきたいと思っておりますので、若輩者ですが、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 5 当協議会における検討事項依頼

事務局：どうもありがとうございました。それでは、会長が決まりましたので、市からの検討依頼書を、市長を代理し福祉保健部長から会長にお渡しさせていただきます。委員の皆様には、後ほど、事務局から検討依頼書の写しをお配りいたしますので、ご承知おきください。

(検討依頼書を福祉保健部長から会長に手渡す。事務局から委員に写しを配布する。)

## 6 議事

事務局：それでは、議事に入ります。ここからは、会長に議事を進めていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

会長：それでは、早速議事に入らせていただきたいと思います。

その前に、会議の公開ということで、傍聴の方に入場していただきたいと思いますけれども、皆様方、よろしいでしょうか。

(「はい」との声あり)

会長：では、傍聴の方がいらっしゃいましたら、事務局の方、ご案内をお願いいたします。

事務局：本日は傍聴の方はいらっしゃいません。

会長：ありがとうございました。事務局の報告のとおり、本日は傍聴の方はいらっしゃいませんので、早速、議事の中に入っていきたいと思ひます。

### (1) 府中市障害者計画推進協議会の概要説明について

会長：議事1につきまして、事務局から説明をお願いします。

(事務局から、資料1、2について説明。質問、意見はなし。)

### (2) 府中市障害者計画推進協議会会議のスケジュール

### (3) 次回日程について

会長：議事2につきまして、事務局から説明をお願いします。

(事務局から、資料3について説明。)

会長：今の事務局からの説明、それから最初に副会長さんのほうからご案内がありましたように、本協議会の本年度の宿題と言いますか、やらねばならないことは、既に策定されております「障害者計画」の評価、点検方法の検討というのが大きな課題になっております。それらを受けまして、22年度から具体的な評価ということに入っていくわけでございますけれども、この福祉計画そのものの評価、点検方法をどのようにしていったらいいかということにつきまして、これまで計画に携わってきた委員の方々もたくさんいらっしゃると思いますので、ぜひ、アイデアがあれば、こういうふうなことをやったらどうかというようなご意見がございましたら、ぜひ、ご発言をお願いしたいと思います。

それでは、私は今年度からの参加ということになりますので、昨年まで佐藤久夫先生のもとで委員の方々はいろいろご検討されてきたと聞いておりますけれども、何か昨年までのやり方と言いますか、方向について、事務局のほうから簡単にご説明いただけませんか。もしくは、何か腹案等ございましたらぜひお聞かせいただきたいと思っております。

事務局：それでは、前回の福祉計画を策定していったときの状況を、簡単にですけれども、ご説明させていただきます。

実は、この福祉計画は2回目でございます、その前にも福祉計画はつくってありました。その部分を踏襲するという形が結構多くありまして、例えば、ここでいう利用者本位の仕組みづくりとか、そういう四つに分けてつくっているのですけれども、これはほかの計画も大体同じような感じで作って、各計画がばらばらな作り方をしてしまうと、全体の計画としては統一がとれませんので、最初に、まず大きな柱をどのようにしようかということが議題になりまして、その中でこれにあわせたような形で、その後を変えていく形で作っていきこうという形で、まずは前回の計画を踏襲しております。

その中に、新たに、ここの計画をつくる時、「障害福祉計画」、自立支援法という法律ができましたので、ではそれをどうするかと、自立支援法に対する「障害福祉計画」を別につくってもかまわないのですけれども、やはり、この計画は一体とするものでないとおかしいので、この中に章分けして、第5章として中に入れ込む形でこの計画をつくっています。

それで、「障害福祉計画」というのが新たに加わっていますけれども、最初のうちは、その計画の中身を少しずつ変えていく、それとこの目標を、目標というか、最初の理念等に対して、この理念で今回もこの計画をやるのかということが、結構重点を置かれた中で話し合いをされていました。

その後、その四つに対して、個々に、余り時間がなかったというのもあるのですけれども、もう少し細かく検討していくということで、その辺の作業が終わった後に、最後のほうは分科会を設けて、この四つに関しまして、もう少し細かく、その分野ごとに分けて検討してもらおう分科会を分けました。その分科会に分けた中で、

最後の計画をつくるのに、その分科会の中で話し合ったことを発表しながら、この計画をつくっていくような形にしております。

そういうことで、この計画はでき上がったわけですが、今後、その計画を推進していく中で、どのように評価、点検していくかということが、この協議会の始まりのうちの最大のやることの重点的なこととなりますので、その評価方法を、ここにつくった四つに分けた中にそれぞれ事業をつくっておりますので、私どもの案といたしまして、皆さんがここでどう評価しますかということで、一応、次回までの間に案を出したいと思えます。

例えば、「利用者本位のサービスの実現のために」ということだと、中に事業がいっぱい入っております。権利擁護のお話とかいろいろ入っておりますので、例えば、183ページをお開きいただきますと、「利用者本位のサービスの実現」ということではこういう事業をやろうということが、下に四角く囲ってあるのですね。それを皆様がこの事業に対してどうなのかというような表なり、うちの中でこの事業を組んで、このことに対してこういうことをやって、どのくらいの量をやるかとしているのか、皆様にわかるような表を一度作成してお送りしたいと思っております。

それに伴いまして、皆様はそれを参考にさせていただきながら、皆様の周りの状況なり、地域の方から聞いていることなど、思うことを中で評価していただくような形を考えて、その後、それではまだ評価が足りない、こういうものではやりにくいということが、1回出せば、その後、皆様のアイデアももう少し浮かぶでしょうから、1回それをお送りさせていただいた中で、実際にちょっと皆さんやってみていただいて、その後、こういうものをつけ加えたらいいとかいうことで、もっと別なやり方があればそれでもかまわないのですけれども、その次の会議のときに話し合いをしていただけたらというふうに思っているところでございます。

以上です。

会長：ありがとうございます。

皆さんに私のアイデアでお諮りいたしますけれども、私どもが、とりあえず今年度やらなければいけないということは、先ほど事務局からご説明がありました47施策114事業について、この1年、ことしから始まったばかりですので、成果が上がっている事業もあれば、まだ、これから手つかずの、まだ全然やっていなくてこれからという事業もあるかと思えます。これにつきまして、まだ、これから開始されるような事業については、評価というのはなかなか難しいのですけれども、とりあえず府中市として立てた47施策114事業、かなりボリュームがありますけれども、これにつきまして、現在、どのようなスタンスで、この事業はまだ取りかかっていない、この事業はもう既に取りかかって、ここまで実績が出ているといった資料の作成を事務局のほうにさせていただきまして、とりあえず、我々はそれを見ないことには何の評価もできないということなのだろうと思えます。もしも、その資料をお願いするということになりますと、どれくらいの時期になりますでしょうか。

事務局：施策によっては、今会長さんからお話が出たとおり、まだ実施していないもの、あるいは他課とわたる部分があったり等々ございまして、ことし4月から始まったということでございますので、そこいらの時期的なものを勘案して、年内には何とかまとめ上げるような形ができたらと思っております。

会長：ありがとうございました。

それでは、何とかそういったたき台的なことはお出しできるということですので、それを事務局から送付していただいて、それらを皆様方がそれぞれご検討いただいて、これはちょっと遅いのではないかと、これは何となく順調に進んでいるなどかということをご判断いただく。そして、それらの結果を持ち寄って、第2回目でいろいろ意見を出していただいて、さらにその評価や点検の方法について意思統一していく、ということではいかがでしょうか。

（「はい」との声あり）

会長：それから、先ほど、かつて、去年は計画をつくる段階では4分科会にされたということで、私も前任の佐藤先生からそのように承っておりますが、仮に分科会をつかったほうが効率的なのかどうか。分科会にすれば、それぞれの分科会ごとの守備範囲で4分の1になりますので、比較的合理的なようではあるのですが、では、いつ集まってというような問題も出てまいります。

その辺について、ちょっと私もそこら辺は判断がつかないところでもございますので、去年、この計画をつくるに当たってご検討いただいた委員の皆様方からその辺の持ち方について、ご意見とかご要望がありましたら、ぜひ、承りたいと考えております。

副会長：これを策定したときに分科会という形でやらせていただいたときには、本協議会の1時間前にお集まりいただいて、それぞれどの委員を四つのうちのどこにするかは事務局案で出してもらって、2人のところから5～6人のところまであったのですが、この協議会の前に1時間ほど、分科会みたいな形で先ほど出ていた183ページからの目標1、目標2、目標3、目標4という形で4グループで話し合いをして、それぞれ話し合ったところを本協議会の会議が始まったところで、報告を上げていただくということを3～4回くらい、その形をとってやらせていただいたかと思っています。

実際、これを点検していくところで、引き続きかかわってくださる委員の皆様も多いので、方向としての一つの案としては、また同じ分科会で、同じメンバーで点検をしていくというのは、つくった側と、実際事務局が出してくれた進捗状況と、それを見ながら同じメンバーが点検していくというのは、一つの方法かなとは思いません。

高倉会長：ありがとうございました。

そのほかの委員の皆様、今、副会長さんは、分科会でつくった案だから、また分科会で検討したほうが、比較的中身の濃い議論ができるのではないかというご意見だ



ったかに理解をしておりますけれども、ほかの委員の皆様方、いかがでございますでしょうか。

委員：先ほどの委員の意見にまずはご賛成をさせていただきたいと思います。その上で、ちょっと私はつけ加えたいことがございます。

この計画をつくる段階では、実際の委員会、推進委員会の前の時間に分科会を持ったわけですね。そうすると、私などは、この四つの項目全部に関心があるので、全部出たいと思ったのだけれども、一つしか出られない状況が起こってしまったわけです。

正直言って、私もどれだけ四つ全てに出られるかというのは怪しいと言えば怪しいのですが、これは別の日にちに時間をとって、分科会をやるのは賛成なのですが、やはり、全体会というか、推進協議会の同じ時間のすぐ前ということではなくて、別の日にちに分科会をつくっていただいて、そここのところで議論をしたものをそちらの推進協議会の中で、もう一度再度検討するというようなシステムにさせていただきたいと考えております。

会長：ありがとうございます。

できたら別の日に分科会を設定して、その議論経過を踏まえて、それを通して第2回目の推進協議会の本委員会のほうに持ち寄って、もっと密度のある提案をしようというご意見だったと思います。

事務局に伺いますが、別の日に分科会を開くということにつきまして、事務的なところで何か問題はあるのかどうか。それから、これは逆に皆様方にも同じことなのですけれども、日程調整といいますか、そういったものがうまくとれるのかどうか。そのことについてもお伺いしたいと思います。先に事務レベルとしまして、別の推進協議会以外の、多分今日が終わって、次の会議の前、特に資料ができるのが年末ということでしたので、せいぜい年明け、1月ぐらいになるかと思いますが、そういう時期に招集をするということについて、事務局のほうとして、事務的な何か懸念とか、そういったものがございましたら、お聞かせいただきたいと思います。

事務局：前回、同じ日にやった理由というのは、一番は、皆様のほうの参加が、日にちがばらばらになるわけで、今のご意見でいきますと、分科会を同じ日にやってはだめなわけです。同じ日でも同じ時間でもだめなわけで、四つだったら4回別の時間帯にやらなければいけないということになるわけです。

あとは、私どものほうとしては、会議室をとる問題なので、それがもしとれればその日にします、人数が少ないから小さな会議室でもいいのかもしれないのですけれども、その場所の問題が煩雑になるかなど。その日に確実に会議室をとれるかどうかというのは、分科会の進捗状況によるかもしれませんが。

それでその日に皆さんの都合がつくか、例えば、もし都合がつかなくても進めていってしまうような分科会にするかという話になるのですけれども、その辺がどうか、というのが私どもの懸念です。市で場所をとる場合には、希望した日でとれる

かどうか未定になります。

会長：ありがとうございました。

そのほか、集まって分科会をやることは、どっちかというボランティアな形でやるのかどうかというのも出てまいりますね。その辺も出てくる、はっきり言えば、謝礼金とか、そういった経費の問題とかもございますので、その辺もどなたかご意見がございましたら、お願いしたいと思います。

委員：本当に皆さん多忙な方たちなので、集まるのが一番大変なのだろうと……ですが、実は、提案させていただくに当たっては、モデルがあるのですね。八王子市が実際、そういうふうな形でやっています、その中で、謝礼に関して、ボランティアだとかどうかというのは、ちょっと確認はしていないのですが、やっぱり別の日に時間帯を変えてやっているのですね。具体的にもう実際に始まっているところからサンプリングしたほうがわかりやすいかなと思います。

会長：ありがとうございました。そのほか、委員の皆様方で、賛成意見でも何でも。

副会長：スケジュール案を見る限りでは、この後の1回、2回でどういうふうに評価、点検をしていこうかというやり方を考える。なので、分科会にしていこうかというのも、そこで多分検討して、実際は、この22年の中盤からが実際の評価、点検の時期になってくるのだと思うのです。

例えば、ほかの推進協議会はどういうやり方をしているのかとか、今度事務局が出してくる現状の進捗状況を見ながら、今年度のもう1回と来年度のもう1回のところで進め方をいろいろな資料、材料を持って、皆さんで検討していく。その中で、この1カ月、2カ月、3カ月ぐらいのところ、委員の皆様にも考えてきていただいて、どういうやり方がいいのかなというのを今度持ち寄っていただくというのはいかがかなと思います。

会長：ありがとうございました。

一応、分科会でやるかどうかも含めて、この間、次の協議会会議までに、事務レベルではちょっと詰めていただくこともあるでしょう。場所の問題、経費の問題というのものもあるでしょう。それから、実際に評価表の作成など進んできた段階でもまた会議の持ち方に関する話は出てくるかもしれません。

そういうことで、本日は、特に持ち方については結論を出さないということにいたしまして、この間、事務ベース、それから我々委員ベースでそれぞれ考えて、どのようにするかというのを次回の推進協議会のときに意思統一をするということで、よろしゅうございますでしょうか。

それでは、このスケジュール表によりますと、次回の推進協議会が2月か3月になっておりますけど、委員の皆様方の日程、ご都合というのがあるかと思えます。きょうの段階で、まだ先の話ですので、決まらない方もいらっしゃるかとは思いますが、この曜日はだめであるとか、この時間帯はだめであるとか、何かそういうご要望がありましたら、事務局にお伝えください。

#### (4) 議事録について

会 長：それでは、議事録について、事務局のほうからご説明をお願いします。

事 務 局：議事録につきましては、発言要旨録を作成させていただき、委員の皆様にご了解いただいた後に公開することとさせていただきます。

#### (5) その他

会 長：そのほか、何か事務局のほうから事務連絡等がありましたらお願いいたします。  
(事務局から委任状等について説明)

会 長：ありがとうございました。一応、これで本日予定しておりました議事は終了となります。これで本年度の第1回の府中市障害者計画推進協議会を終了したいと思います。本日はどうも皆様ありがとうございました。次回からもよろしく願いいたします。事務局の皆様もどうもありがとうございました。

以上